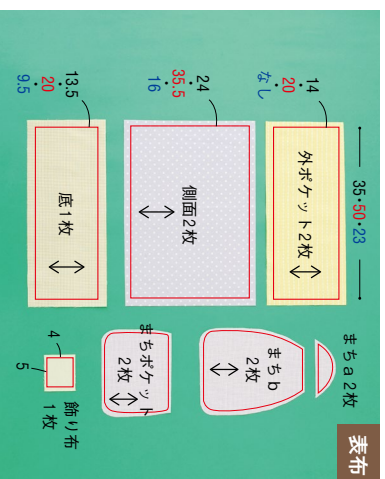
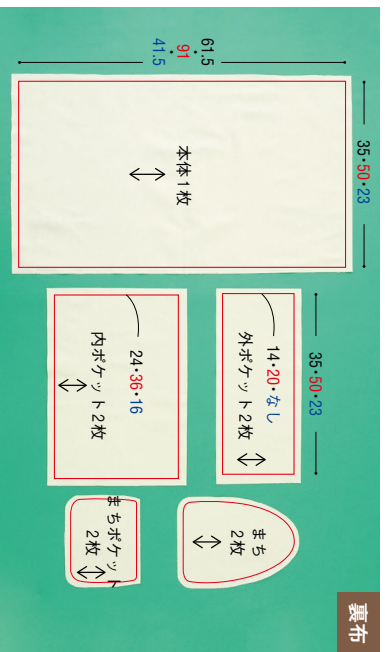
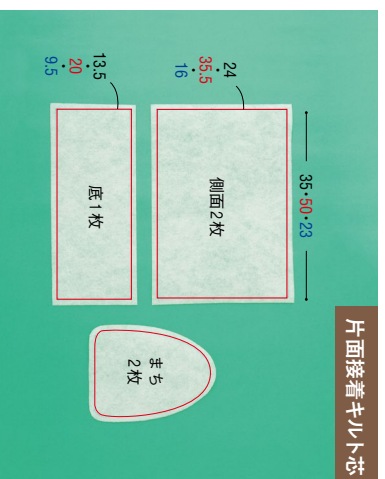
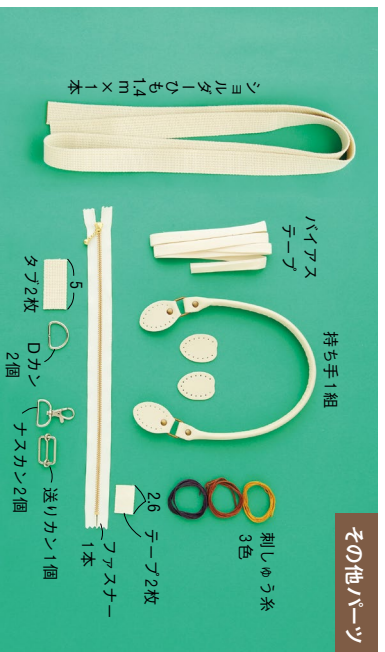


中サイズのボストンバッグの作り方



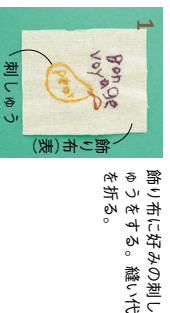
材料 側面表布 80×30cm、まち表布a・まち表布b・まちポケット表布 40×30cm、外ポケット表布 40cm四方、底表布 40×20cm、裏布 110cm幅×1m、片面接着キルト芯85×55cm、飾り布 10cm四方、2cm幅両折りバイアステープ1.3m、当て革付き長さ40cm持ち手1組、32cmテープ10cm、シヨルターひも・タフ布用2.5cm幅Dカン2個、2.5cm幅送りカン2個、2.5cm幅送りカン1個、25番刺しゅう糸。



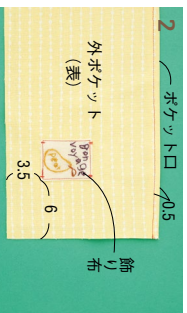
※本体裏布は長辺に、まち裏布は全体に布の表側にも印をつけておく。
☆縫い代は指定以外1cmつける。

※数字が3つあるものは、
■が**中サイズ**
■が**大サイズ**
■が**小サイズ**の寸法です。

3 本体表布を作ります



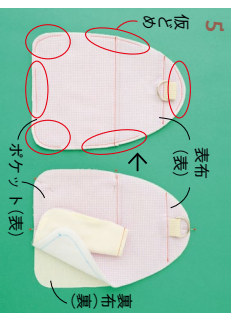
飾り布に好みの刺しゅうをする。縫い代を折る。



外ポケット表布・裏布を中表に合わせてポケット口を縫い、表に戻してステッチをかける(1-1参照)。2枚作り、1枚に飾り布を縫いとめる。

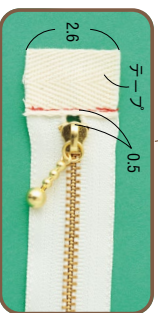
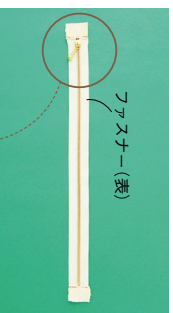


側面と底の裏に片面接着キルト芯を貼る。側面2枚、底1枚作る。



表布と裏布を外表に合わせて、ポケットを重ねて仮どめする。2枚作る。

2 フラスナーを準備します

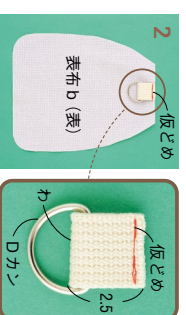


フラスナーの両端に2cm幅テープを重ねて縫いとめる。

1 まちを作ります



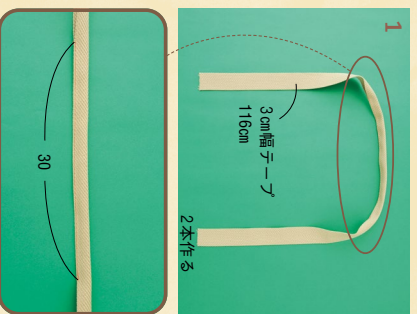
ポケット表布・裏布を中表に合わせてポケット口を縫う。表に戻してステッチをかける。



2.5cm幅テープを二つ折りにしてDカンを通し、仮どめしてタブを作る。タブを表布bに仮どめする。

大サイズの持ち手の場合

荷物がたくさん入って重くなる可能性の高い大サイズは、持ち手をしっかり縫いとめると安心。



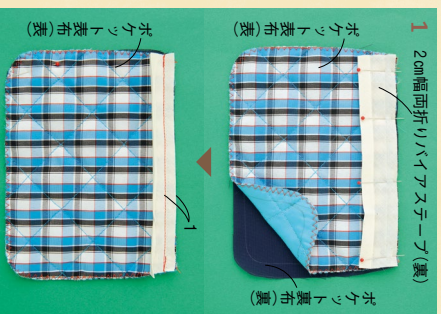
持ち手を二つ折りにして中央を縫う。



P.39の3本体裏布を作り、まずを参照して裏布を作り(飾り布はなし)、外ポケットを仮どめしたあと持ち手を縫いとめる。

ポケット口をパイピングする場合

キルティンテ地など厚みのある布を使うと縫い代がごろごろついで、布端はパイピング処理するのがおすすめです。

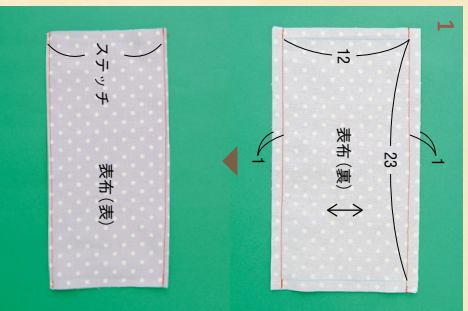


ポケット表布・裏布を外表に合わせる。ポケット口にパイプステータを中表に合わせて縫う。



ボトルケースをつける場合

大サイズについているボトルケースは裏布かでき上がったところをつけておく。



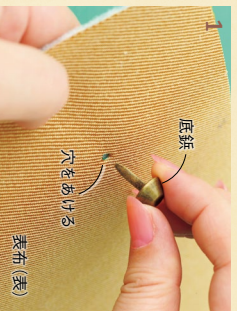
表布と裏布を中表に合わせて長辺を縫う。裏に返してステッチをかける。



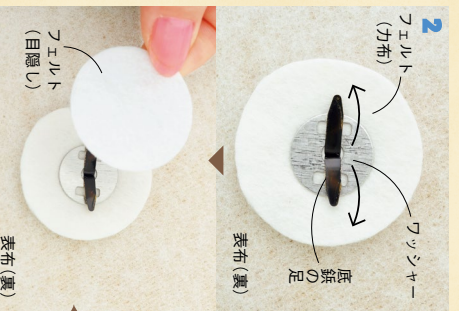
二つ折りにして裏布の脇に仮どめする。

底錠をつける場合

底錠は裏布が上がりたところにつける。床にハツクを置いた際の汚れ防止に。

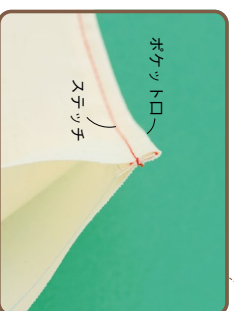
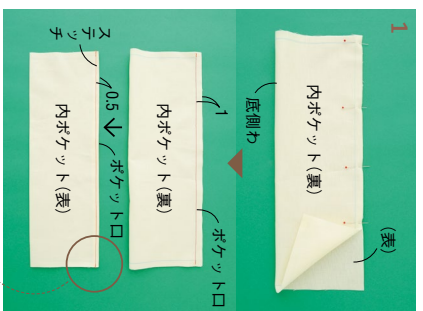


表布の底錠をつけたい位置の裏にカ布のフェルトを貼り、穴をあける。底錠を差し込む。

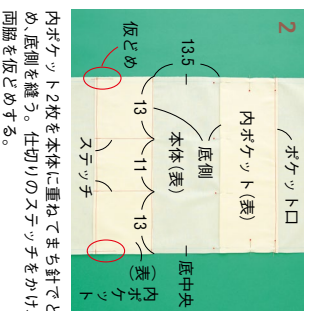


フックシャーの穴に底錠の足を通して左右に開く。目隠しのフェルトを重ねてポイントで貼る。

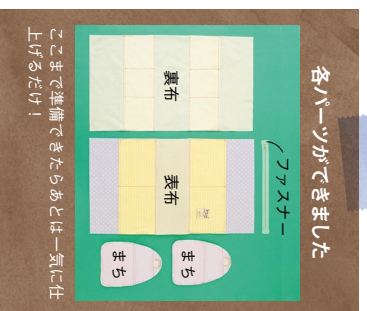
本体裏布を作ります



内ポケットを中表に二つ折りにしてポケット口を縫う。裏に返してポケット口にステッチをかける。2枚作る。

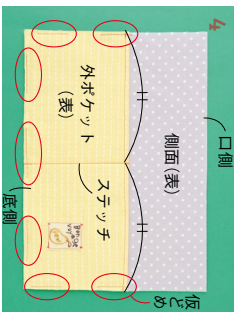
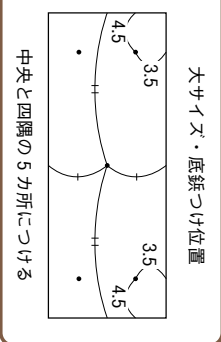


内ポケット2枚を本体を重ねてまち針でとめ、底側を縫う。仕切りのステッチをかけ、両脇を仮どめする。

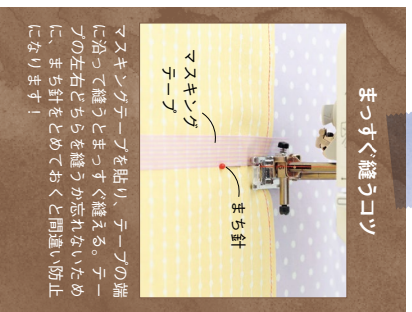


各パーツができました

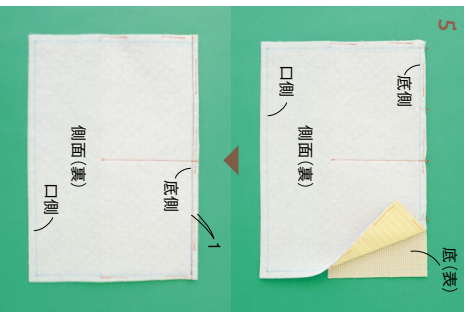
底錠の位置



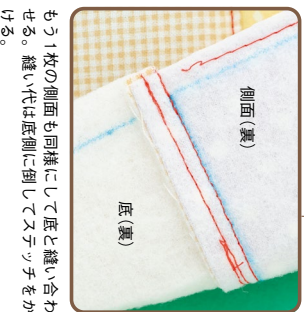
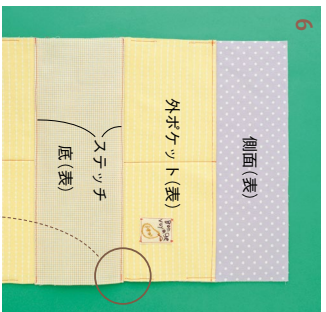
側面に外ポケットを重ねて中央に仕切りのステッチをかけ、仮どめする。2枚作る。



マスキングテープを貼り、テープの端に沿って縫うとまつすく縫える。テープの左右どちらを縫うか忘れないために、まち針をとめておく(間違いない)になります！



側面と底を中表に合わせて縫う。



もう1枚の側面も同様にして底と縫い合わせる。縫い代は底側に倒してステッチをかける。

ショルダーひも を作ります

- 1 2.5cm幅テープ(1.4m)をわなすかん、送りかん、なすかん
- 2 2.5cm幅テープの端をなすかん、送りかん、なすかんの順に通し、端を1cm→3cmの三つ折りにして縫いとめる。
- 3 テープ、送りかん、テープの端
- 4 反対側のひもの端を矢印のように送りかんに通す。
- 5 4.5、送りかん
- 6 写真のように端を折り、縫いとめて完成。
- 7 ショルダーひも
- 8 送りかんの位置をずらしてショルダーひもの長さを調節する。

だき上がり

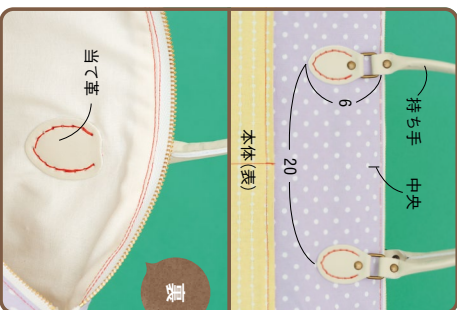
荷物が多いときはショルダーひもをつけて斜め掛けすると便利です



バイアステープを表に戻し、縫い代をくるんでまちにまつ。反対側も同様に作る。



表に戻して形を整える。



持ち手を縫いとめる。

まとめます

- 1 本体(裏)、まち(裏)
 - 2 本体(裏)、まち(裏)
 - 3 本体(裏)、まち(裏)
- 布が厚い部分は仮どめクリップや使いやすくとめやすいです
- 本体の縫い代に切り込みを入れてまちのカーブに沿わせる
- 合い印を合わせて本体とまちを中表に合わせて、まち針でとめる。

本体を作ります

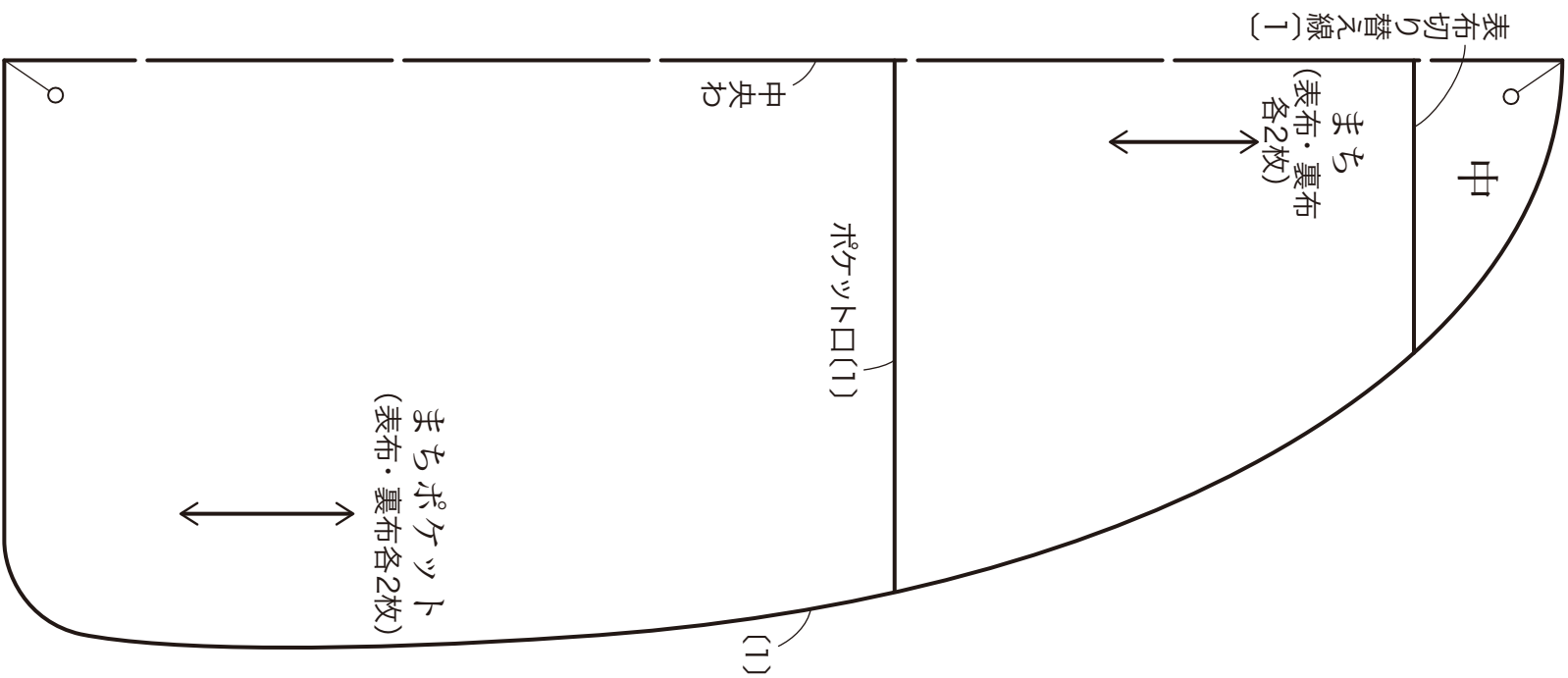
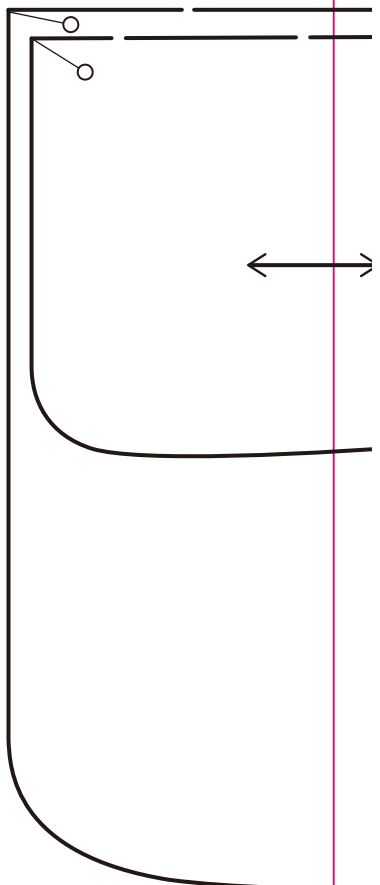
- 1 口側、1、フラスナー(裏)、0.5、表布(裏)
 - 2 口側、1、フラスナー(裏)、0.5、表布(裏)
 - 3 口側、フラスナー(裏)、スナッチ、表布(裏)
 - 4 スナッチ、1.5、表布(裏)
- 縫い始まり、縫い終わり、2重なる
- 縫い代にバイアステープを中表に合わせて縫いとめる。

横から見ると

反対側も同様に縫い、スナッチをかける。



2



型紙貼り合わせ図

1

2